心理学基礎演習 II

科目ナンバリング　SEM-202
必修　　2単位

敷島　千鶴

1. 授業の概要（ねらい）

人間の性格を科学的に捉え、心理調査から得られた実証データをもとに検討した著作を読み、ディスカッションを重ねていく。教科書及び、関連する文献を丁寧に読むことにより、心理学論文の読み方と書き方を修得し、3年次から行う自身の研究へと繋げていって欲しい。「心理学基礎演習Ⅰ」に続き、問題意識を持ちながら、人間の多様なパーソナリティについて、さらに洞察を深めていって欲しい。

2. 授業の到達目標

① 心理学の幅広い分野にわたる、こころに関する知識や法則を理解できる。
② こころの働きを科学的に理解するための科学的思考力とデータ分析力を有する。
③ 性格とは何かについて、自身の考えをもち、人に伝えることができる。

3. 成績評価の方法および基準

授業への関与の程度、作成した資料、プレゼンテーションやディスカッションのパフォーマンス、課題に対するレポートの完成度によって評価する。

4. 教科書・参考文献

教科書
小塩真司著　『性格とは何かーより良く生きるための心理学』　中公新書

5. 準備学修の内容

毎回の授業までに指定された箇所と関連論文を、全員が読んでくること。各回の発表はグループワークによって行う。担当者グループでプレゼンテーションの準備を行い、WordまたはPower Pointで発表資料を作成する。

6. その他履修上の注意事項

「パーソナリティ心理学（感情・人格心理学」を合わせて履修することにより、理解が深まる。
履修者一人ひとりの積極的な参加を期待する。
LMSの本科目サイト内に、授業に関する情報を掲載する。履修者は毎週アクセスすること。

7. 授業内容

【第1回】　ガイダンス
【第2回】　序章　性格とは何か
【第3回】　第1章　性格と年齢　1 子どもの気質
【第4回】　第1章　性格と年齢　2 性格はいつ完成するのか
【第5回】　第2章　性格と住む場所　1 国際比較でわかること
【第6回】　第2章　性格と住む場所　2 国内の地域差と住む場所の選択
【第7回】　第3章　性格と時代　1 IQと自尊感情の時代変化
【第8回】　第3章　性格と時代　2 ネガティブになる日本人
【第9回】　第4章　性格と性差　1 欧米で自尊感情の男女差が大きい不思議
【第10回】　第4章　性格と性差　2 結婚、浮気、そして離婚
【第11回】　第5章　性格と生活　1 部屋や顔でどこまでわかるか
【第12回】　第5章　性格と生活　2 成功する性格はあるのか
【第13回】　終章　より良く生きるための自己分析
【第14回】　総合討論
【第15回】　＜オンライン＞　関連する文献の講読